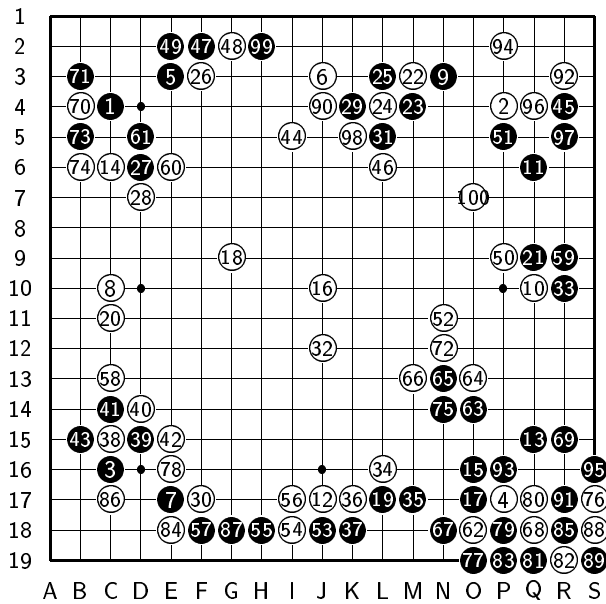


1996年 第2回 FOST 杯, 1996年 9月 14日, 場所: 日本棋院

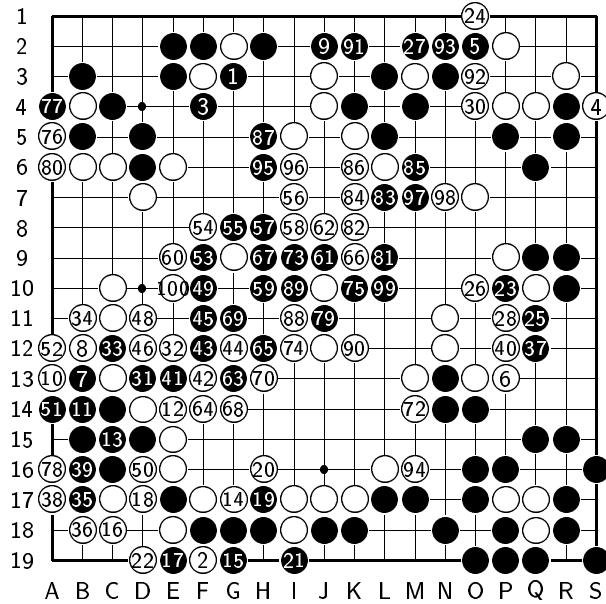
黒: 勝也 (時間切れ勝ち)

白: 彩

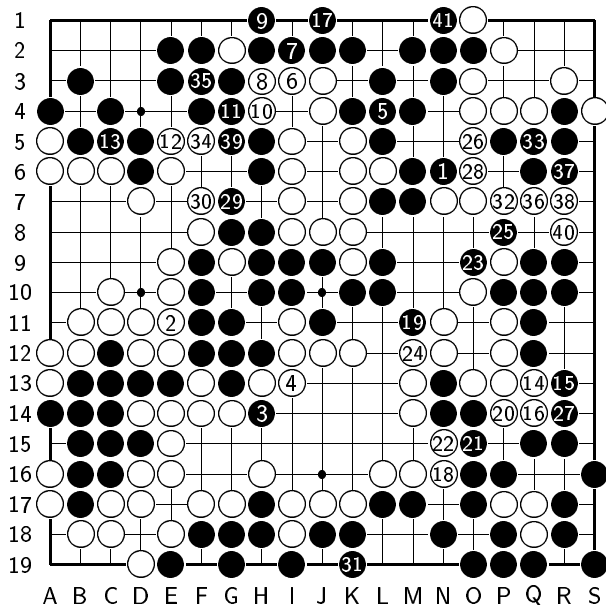
1 ~ 100



101 ~ 200



201 ~ 241



黒 129(Q,10), 黒 147(C,13), 黒 171(G,12)

当時の彩は、ほとんどポテンシャル関数のみで評価しているため、中央に石をバラまいている。勝也は模様の中に飛び込むような手は生成できないので、左下が取られた時は負けを覚悟。131手の切りから強引に動き出すと、彩もちゃんと殺すことができず、模様の中に黒が生きて逆転。白も210手目で生き返り、ヨセ勝負になるかと思われたが、彩が持ち時間を使い切ったので、大会ルールにより勝也の勝ち。